

平成 29 年 7 月 14 日

会員各位

公益社団法人 電気化学会

会 長 宇田川 憲一

年会費改定のお願い

謹 啓 会員の皆様におかれましては、平素より本会活動につきご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげをもちまして、本会は本部・支部並びに専門委員会、研究技術懇談会の活動等を通じて、電気化学の基礎と応用に関する研究の発展、関連産業技術の進歩に果敢に取り組み、創立 84 年を迎えることになりました。

この間、技術革新、グローバル化の進展は目覚ましく、電気化学の学術体系においては最先端の技術と結びついた新しい分野での取り組みが積極的に行われ、産業分野においても国内外での競争が激化し、事業の選択と集中が更に進むなど、本会を取り巻く環境は大きく変化してきています。

運営面では、昭和 55 年(1980 年)に現行の会費に決めさせていただいて以降、37 年間、消費税の導入、その後の度重なる税率の改定などをはじめとする幾多の社会的・経済的な変化の際にも、会員各位のご協力と学会運営の合理化、更には周年事業による各界からのご支援等で財政的課題を何とか乗り越えてまいりました。

しかしながら、近年は学術研究の多様化・細分化などから本会会員数は横ばいから減少に転じてきており、併せて、物価上昇や人件費、システム費等の経費も増加傾向にあり、事業の合理化や経費削減の努力に懸命に取り組んでおりますが、全体の収支の均衡を保つことが難しく、積立金を取り崩すなど厳しい財政状況となっております。

つきましては、会員の皆様のご理解を賜り、本会の運営基盤の安定と持続的な発展に向けて、来年より記載の通り会費の改定を切にお願い申し上げます。

本会としましては、業務全般の更なる合理化、効率化を進め、財政の安定化、健全

化に努めるとともに、会誌や学術講演大会の充実、社会ニーズに適ったセミナーの実施など会員相互の交流、サービスの向上にも取り組んでまいります。また、関連する新産業と連携しての新たな学術領域の探究や若手研究者への支援等を積極的に行い、より魅力ある学会となるように努力してまいりたいと存じます。

会員の皆様におかれましては、誠に恐縮に存じますが、事情ご賢察賜りまして、何卒、ご理解いただきますよう謹んでお願い申し上げます。 謹 白

### 会費の改定額について

|             |   |
|-------------|---|
| <b>個人会員</b> | 9,000 円 ➡ 11,000 円                                    |
| <b>学生会員</b> | 4,500 円 ➡ 現状維持  |
| <b>法人会員</b> | 特別法人会員 100,000 円以上 ➡ 現状維持<br>法人会員 30,000 円 ➡ 40,000 円 |
| <b>賛助会員</b> | 18,000 円 ➡ 6,000 円(会誌発行回数減少 12 回→4 回による)              |

### シニア会員制の導入

本会会員の新たなカテゴリーとして、本会の目的に賛同し、継続して本会活動を支援いただける個人をシニア会員とする「シニア会員制度」を導入いたします。

1. 資格要件 60 歳以上で、定職にお就きでない、会員歴 10 年以上の方。
2. 年会費 5,000 円とする。

※申し込みはご希望されるご本人から申請いただき、理事会で承認・決定いたします。

#### 【ご案内】

本件、年会費の改定及びシニア会員制の導入につきましては、定款変更となりますので、臨時総会を開催し、お諮りすることとなります。 以 上